新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化		
事 業 名	島の交流拠点施設整備事業 【新規】			
担当課名	総合政策課		所属長名	小　柳　　哲　也
関係課名	建設課、観光商工課、農林課、水産課、財産管理課			
事業の目的	総合的に人が集まる場所（物産販売、体験、交流、食事等）としての施設整備の検討を行い、「ひと」と「しごと」の好循環を支える基盤整備及び地域活性化に繋げていくことを目的とする。			
事業の内容	総合的に人が集まる場所（物産販売、体験、交流、食事等）としての施設整備の検討を行う。			
事業の実績・取組状況	○中五島高校2年生とのパブリックワーク（新上五島町の未来への光を探せ）で人が集まる場所づくりとして、旧崎浦小学校校舎の有効活用について検討を行った。 ○民間事業者から旧崎浦小学校再利用プロジェクトの提案があり、財産管理課及び教育委員会へ情報提供した。			
成果（できたこと）	高校生からの提案や民間事業者からの提案もあり、廃校舎の有効活用に向けて協議の段階。			
課題（できなかったこと）	遊休公共施設活用の公募など、関係各課、地域との協議が課題である。			
担当課評価	B	総合的に人が集まる場所（物産販売、体験、交流、食事等）としての施設整備の検討という意味では、高校生や民間事業者からの提案などがあり協議・検討はできた。しかしながら、実現に向けての手続きや課題（地元との協議など）がある。		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	遊休公共施設の活用に向け、先ず、遊休公共施設活用提案事業選定委員会を設置し、提案された事業の有効性及び効果について調査審議する必要がある。			
委員評価	B	２次評価のとおり		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化		
事 業 名	若松診療所整備事業 【新規】			
担当課名	若松診療所		所属長名	荒　木　建　就
関係課名	健康保険課			
事業の目的	地域に住む人々が安心して住み続けられるよう、地域医療拠点施設の確保のため、老朽化が著しい若松診療所の建て替えを行う。			
事業の内容	今後策定する公共施設等総合管理計画の方針に基づき、老朽化が著しい若松診療所の建て替えを行う事業。			
事業の実績・取組状況	新規事業のため、27年度の取組無し。			
成果（できたこと）	－			
課題（できなかったこと）	－			
担当課評価	―			
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	公共施設等総合管理計画の方針に基づき、建て替え時期や施設規模などの詳細について、検討を進める。			
委員評価	―	次年度以降に評価		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化		
事 業 名	町営住宅建替事業			
担当課名	建設課		所属長名	本　田　雄　喜　治
関係課名				
事業の目的	新上五島町公営長寿命化計画において「建替」と位置づけられた町営住宅の建替を実施し、老朽化、耐震性の改善及び高齢者の入居にも対応したニーズの高い町営住宅の供給を図る。			
事業の内容	長寿命化計画に基づく町営住宅に建替え			
事業の実績・取組状況	町営住宅つつじヶ丘団地建替　　71,750千円 既存住棟解体工事　　１棟（５戸） 建設工事　　１棟（４戸） 設計監理業務委託　　１式 現入居者移転補償　　１式			
成果（できたこと）	公営住宅整備基準の「温熱環境（省エネ）」「遮音性能、劣化の軽減」「維持管理への配慮」「空気環境（ｼｯｸﾊｳｽ）」「高齢者等への配慮」等を考慮した計画をし、住民のニーズに対応した町営住宅の整備ができた。			
課題（できなかったこと）	なし			
担当課評価	B	長寿命化計画どおり事業は進捗されている。		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	引き続き、長寿命化計画に基づき、耐震性の改善及び高齢者の入居にも対応した町営住宅の建替えに取り組む。			
委員評価	B	２次評価のとおり		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化		
事 業 名	都市公園整備事業			
担当課名	建設課		所属長名	本　田　雄　喜　治
関係課名	教育委員会　生涯学習課			
事業の目的	都市計画公園について、今後進展する老朽化に対する安全性の確保、機能の確保及びライフサイクルコストの縮減の観点から、予防保全型管理による長寿命化対策を含めた計画的な維持管理・更新を的確におこなうことを目的とする。			
事業の内容	有川運動公園の長寿命化計画の基づいた改修工事			
事業の実績・取組状況	有川運動公園施設長寿命化対策工事測量設計業務委託　10,001千円 ・テニスコート改修実施設計　　１式 ・野球場照明実施設計　　１式 ・野球場スコアボード設計　　１式 ・地質調査業務（ｽｳｪｰﾃﾞﾝ式ｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ試験）　　１式			
成果（できたこと）	ﾃﾆｽ場、野球場照明、野球場ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞの設計で4～６案の中から、ﾗｲﾌｻｲｸﾙｺｽﾄ等を考慮した設計をおこなった。			
課題（できなかったこと）	野球場照明、野球場ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞの基礎の設計としてｽｳｪｰﾃﾞﾝ式ｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ試験を実施したが、地盤の状況が想定以上に悪く、ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ調査等の地質調査が必要。			
担当課評価	B	長寿命化計画どおり事業は進捗されている。		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	H28年度にﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ調査等を実施し、野球場照明、野球場ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞの基礎構造に反映させる。			
委員評価	B	２次評価のとおり		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化		
事 業 名	普通住宅解体事業			
担当課名	財産管理課		所属長名	初　田　　正　信
関係課名				
事業の目的	老朽化し、使用に耐えない普通住宅の解体を年次計画により実施し、近隣住民への環境整備を図るとともに普通財産の適正管理を行う。			
事業の内容	老朽化等により使用に耐えない普通住宅の計画的な解体を実施する。			
事業の実績・取組状況	普通住宅の中から老朽化がひどく近隣住民等へ悪い影響を与える恐れがある住宅についての検討をした。			
成果（できたこと）	普通住宅の中から老朽化がひどく近隣住民等へ悪い影響を与える恐れがある住宅についての把握ができた。			
課題（できなかったこと）	町の財政状況と財産管理課内での事業実施の優先順位を検討した結果、平成２７年度は、解体が必要な建物の把握を実施し、翌年度以降解体を実施することとした。			
担当課評価	C	平成２７年度は、解体を実施できなかったが、平成２８年度以降計画的に解体を実施していく。		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	平成２８年度策定予定の公共施設等総合管理計画に基づき普通住宅についても計画的に解体していきたい。			
委員評価	C	２次評価のとおり		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化		
事 業 名	老朽危険空き家除却費補助事業			
担当課名	建設課		所属長名	本　田　雄　喜　治
関係課名				
事業の目的	管理不全な老朽危険空き家を除去する所有者等に除却費の一部を助成する事業を実施することで、対象物件の危険性を認識し除却意識を誘導することで、町の安心・安全な住環境づくりを促進することを目的とする。			
事業の内容	老朽危険空き家除却費の補助 所有者への補助約40%，限度額800千円			
事業の実績・取組状況	回覧及び広報誌により住民への周知を行った。 １件、369千円の補助を行った。			
成果（できたこと）	1件の補助を行い、老朽危険空き家除却に繋がった。また、相談件数19のうち5件については、個人負担による除却につながった。			
課題（できなかったこと）	なし			
担当課評価	A	老朽空き家解体の誘導が図られた。		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	引き続き、制度周知を行い、老朽危険空き家の除却に取り組む。			
委員評価	A	２次評価のとおり		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化		
事 業 名	町営住宅解体事業			
担当課名	建設課		所属長名	本　田　雄　喜　治
関係課名				
事業の目的	老朽化の著しい町営住宅を解体し、近隣住民への環境整備を図るとともに跡地の有効利用を図る。			
事業の内容	公共施設見直し実施計画及び公営住宅長寿命化計画に基づく町営住宅解体			
事業の実績・取組状況	木造平屋建て１戸解体　61.8㎡　　1,212千円			
成果（できたこと）	安全性の確保及び施設の維持費削減につながった。			
課題（できなかったこと）	なし			
担当課評価	B	公共施設見直し実施計画及び公営住宅長寿命化計画どおり進捗している。		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	引き続き、近隣住民への環境整備を図るとともに跡地の有効活用を行うため、公共施設見直し実施計画及び公営住宅長寿命化計画に基づき町営住宅の解体に取り組む。			
委員評価	B	２次評価のとおり		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化		
事 業 名	耐震・安心住まいづくり支援事業			
担当課名	建設課		所属長名	本　田　雄　喜　治
関係課名				
事業の目的	旧耐震基準の木造住宅所有者が耐震診断や耐震改修計画作成及び耐震改修工事を実施する際に国、県と共に費用の一部を助成することにより震災に強い安全なまちづくりを推進することを目的とする。			
事業の内容	●耐震診断　　対象住宅の耐震診断に要する費用46,200円のうち、30,800円を助成 ●耐震改修計画　　耐震診断の結果、耐震基準に適合しない住宅を基準値以上にするための耐震改修計画作成に要した費用の３分の２（限度額：70,000円）を助成			
事業の実績・取組状況	全世帯回覧及びﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞにおいて、支援制度の周知を図った。 申請実績　０件			
成果（できたこと）	申請は０件であったが、若干ではあるが、耐震に対する意識啓発に繋がり、問い合わせが４件あった。			
課題（できなかったこと）	住民の耐震に対する意識が全体的に低く、申請にいたったものはなく０件に終わった。			
担当課評価	D	今年、熊本で大規模な地震が発生しているが、本町においては４件の問い合わせのみで、地震について住民の関心が薄く成果が上がっていない。		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	回覧、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ等で支援制度の周知に加え、施工業者にも会議等の折事業内容を説明を行なう。			
委員評価	D	２次評価のとおり		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化		
事 業 名	観光地トイレリニューアル事業 【新規】			
担当課名	観光商工課		所属長名	安　永　佳　秀
関係課名				
事業の目的	公園、展望所等に設置している和式トイレを洋式トイレに改修し、高齢者をはじめ多くの島民や観光客が公園や展望所等の利便性を図る。			
事業の内容	高齢者をはじめ多くの島民や観光客の利便性を図るため、公園や展望所等に設置している和式トイレを洋式トイレに改修する。			
事業の実績・取組状況	新規事業のため、Ｈ27年度の取り組みは無し。			
成果（できたこと）	－			
課題（できなかったこと）	－			
担当課評価	―			
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	平成28年度からトイレ改修を行っていく。			
委員評価	―	次年度以降に評価		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化		
事 業 名	公共施設等総合管理計画策定事業			
担当課名	財産管理課		所属長名	初　田　　正　信
関係課名	公共施設を持っている全課			
事業の目的	公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行なうことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現するために、総合的かつ計画的に管理することを目的とする。			
事業の内容	全ての公共施設を対象に、現状や課題を客観的に把握分析し老朽化の状況や利用状況等を確認し、施設等の維持管理・更新等に係る中長期的な経費や、これらの経費に充当可能な財源の見込みなどを把握するとともに、公共施設等の情報と管理・集約する体制を図る。			
事業の実績・取組状況	庁内説明会開催　１回、各課所管の施設についてのデーターの収集。			
成果（できたこと）	平成28年度計画書策定に向けたデーターの収集が概ねでき、本格的な策定作業に繋げることができた。			
課題（できなかったこと）	古い施設等は、資料がない建物もあった。			
担当課評価	B	平成２８年度総合管理計画策定に向けて、事業を進めている。		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	資料がない施設については、再度確認してもらう。			
委員評価	B	２次評価のとおり		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	1	地域を支えるインフラ・サービスの活性化		
事 業 名	奈良尾新温泉活用施設建設事業			
担当課名	観光商工課		所属長名	安　永　佳　秀
関係課名				
事業の目的	現在、奈良尾温泉センターは町民憩いの場として年間約2万人に利用されているが、昭和55年の開業から35年が経過し建物や設備の老朽化から建て替えが望まれており、観光・ビジネス客の利用も期待できるため。			
事業の内容	建築面積　A=374㎡　浴室面積（洗い場、浴槽、サウナ）　A=60㎡　浴槽面積　A=13㎡ ※建設場所については、既存施設をホテルとしてリノベーションを行う計画があることから町民だけでなくホテル宿泊者や観光客等の利用を図るため隣接する場所に建設する。また温浴施設の魅力向上のため景観の良い観音公園内を建設予定地として計画を行う。			
事業の実績・取組状況	奈良尾温浴施設基本・詳細設計業務等委託　　19,302千円 温浴施設の詳細設計を実施するとともに、民間事業者による奈良尾温泉センターのホテル化について事業予定者と協議を行った。			
成果（できたこと）	設計において、町民だけでなく観光・ビジネス客等の利用においても魅力のある施設設計ができた。			
課題（できなかったこと）	世界遺産登録推薦書の一旦取り下げにより、ホテル化事業の進捗に遅れが生じた。			
担当課評価	B	世界遺産登録推薦書の一旦取り下げにより、ホテル化事業の進捗に遅れが生じているが、温浴施設の設計等は計画どおりに進捗しており継続して事業を推進する。		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	ホテル化事業の進捗状況を見極めながら、事業を推進して行く。			
委員評価	B	２次評価のとおり		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	2	地域の特色を活かした地域づくりの推進		
事 業 名	地域活動支援事業 【拡充】			
担当課名	総合政策課		所属長名	小　柳　　哲　也
関係課名				
事業の目的	町民による自主的な地域づくり活動に対し支援を行い、協働のまちづくりを推進するとともに、自治活動の促進、地域活性化を図ることを目的とする。			
事業の内容	○各地域が集会や研修を行う施設整備に対する経費や地域住民が自主的に進めるコミュニティ活動事業に要する経費に対して補助を行う。 ○地域自治活動、地域づくり協議会活動、まちづくり推進団体活動への支援 ○新上五島町地域活動支援事業補助金交付要綱			
事業の実績・取組状況	地域活動支援事業補助金交付　9,992千円 ○自治施設整備事業：集会施設の改修 14地区 1,879千円、備品購入 2地区 214千円、 放送施設の維持補修 11地区 1,203千円 ○地域整備事業：9地区 3,797千円（墓地道等補修、公園整備、法面保護） ○自治活動事業：22地区 1,702千円（夏祭り、花火大会、花いっぱい運動、校区交流ｲﾍﾞﾝﾄ） ○まちづくり推進団体活動事業：5団体 491千円（交流イベント、夏祭り等） ○地域づくり協議会事業：1協議会 706千円（運営費、交流イベント、地域環境整備等）			
成果（できたこと）	○地域の活動件数が前年度と比較して、13地区 1,267千円増加し、地域の自治活動の促進が図られている。 ○特にソフト事業である自治活動が3地区の増、まちづくり推進団体活動1団体の増となっており地域間交流を目的とする複数の自治会での連携事業も増加傾向にある。			
課題（できなかったこと）	○少子高齢化等の影響により地域の実情や地域の負担軽減、特に小規模集落（20世帯以下）の負担軽減を図っていく必要がある。 ○近年の地域の防災意識の高まりなどに対応する支援制度の見直し拡充が必要である。			
担当課評価	B	少子高齢化等の影響により、地域の負担軽減（特に小規模集落への対応）が必要であり、支援制度の見直しを行う必要がある。また、地域の実情、ニーズに沿った制度の拡充を図る必要がある。		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	○上記の課題解決を図るため、平成28年4月から小規模集落に対する補助率の嵩上げ、対象事業（防災事業）の拡充など要綱の見直しを実施した。 ○平成27年度地域コミュニティ自治活動件数（累計）：22件（H31目標値：30件）			
委員評価	B	２次評価のとおり		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	2	地域の特色を活かした地域づくりの推進		
事 業 名	集落維持･活性化プロジェクトモデル事業 【新規】			
担当課名	総合政策課		所属長名	小　柳　　哲　也
関係課名				
事業の目的	自分たちの地域は自分たちで創り守るという住民主導の組織づくりや運営など、集落の維持・活性化を図ることを目的とする。			
事業の内容	○自分たちの地域は自分たちで創り守るという住民主導の組織づくりや運営など、集落の維持・活性化の取り組みをモデル事業として検討する。 ○集落の現状や集落の要望等を踏まえ、集落支援員の配置についての検討を行う。			
事業の実績・取組状況	新規事業のため、Ｈ27年度の取り組みは無し。			
成果（できたこと）	－			
課題（できなかったこと）	－			
担当課評価	―			
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	地域の考え、自主性など行政主導ではなく、地域住民が主導して取り組んでいくことが必要であり、地域の動きなどを注視しながら連携協力して取り組んでいく。			
委員評価	―	次年度以降に評価		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	2	地域の特色を活かした地域づくりの推進		
事 業 名	展望所等景観整備事業			
担当課名	観光商工課		所属長名	安　永　佳　秀
関係課名				
事業の目的	美しい自然や雄大な景観を観光資源として眺望するため、町民や観光客が何度も訪れたくなるよう眺望スポット（展望所等）の整備を行い、自然景観ブランドとして位置づけるための事業。			
事業の内容	眺望スポット（展望所等）の整備、駐車場や案内板、道路等の整備、眺望に配慮した木々の伐採などの景観整備を行う。			
事業の実績・取組状況	米山展望所の草刈を行った。　151千円			
成果（できたこと）	観光環境の整備が図られた。			
課題（できなかったこと）	雑木の伐採ができなかった。			
担当課評価	B	計画どおりに展望所の草刈を行うことができた。		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	雑草だけでなく雑木などの伐採も検討のうえ、役場関係課等と協議をしていきながら、取り組んでいきます。			
委員評価	B	今後、世界遺産登録の可能性もあることから、眺望スポットのみではなく、国道・県道沿い等の景観も含め、横断的な取り組みが必要であると考える。		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略　事務事業評価シート

平成２７年度分				
基本目標	3	伝統文化を重んじ、安心して豊かな生活を送れるまちを創る		
具体的な施策	ア	「しごと」と「ひと」の好循環を支える基盤整備		
	①	快適で暮らしやすいまちの創出		
	2	地域の特色を活かした地域づくりの推進		
事 業 名	沿道つばき林整備事業			
担当課名	農林課		所属長名	下　山　透
関係課名				
事業の目的	島内幹線道路（国道、県道、町道）の景観向上を図る。			
事業の内容	島内幹線道路（国道、県道、町道）の景観を改良し、植栽の種類を順次つばきに変えて行く。			
事業の実績・取組状況	町内3団体の協力があり、総延長1.1kmの整備を行った。　371千円			
成果（できたこと）	周辺景観の向上や環境に対する意識の高揚、植樹の技術向上に繋がった。			
課題（できなかったこと）	年々申請団体が減少傾向にあり、整備延長が短くなってきている。			
担当課評価	C	整備延長を増やすため、周知を徹底する必要がある。		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	住民回覧や広報誌への掲載回数を増やすなど、住民への周知を徹底したい。			
委員評価	C	２次評価のとおり		

Ａ：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
Ｂ：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
Ｃ：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
Ｄ：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
Ｅ：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。